

特別活動研究会 会報7号

KAWASAKI 特活

学級活動 (1) (2) (3) 児童会活動 クラブ活動 学校行事

川崎市立小学校 特別活動研究会

検索



令和5年度 小教研授業研究会 特別活動・養護
令和5年10月18日(水) 川崎市立鷺沼小学校



2年 組

学級活動(2) 「正しい手あらいで 元気な体」

(ウ 心身ともに安全で健康な生活態度の形成)

ねらい

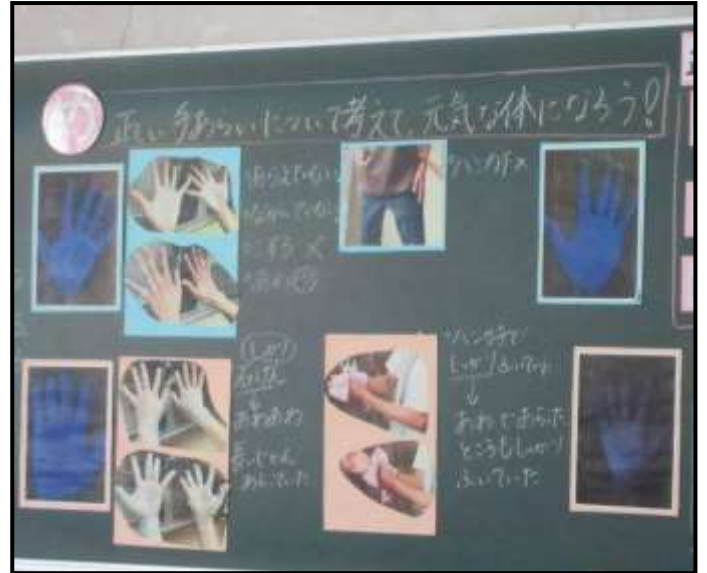
手洗いについての課題に気付き、正しく手洗いをするよさや、手洗いをする時に意識することについて話し合い、自分のめあてをもって実践できるようにする。

<研究協議より>

- 導入で実態を把握したアンケートはよかった。手洗いの比較動画を使用したことで児童が理解しやすかった。
- めあてを決めるための手立ては、手洗いする必要性とどんなことを大切に手洗いするかの2つのポイントがあった。自分のこととして、めあてが立てられたかどうか。
→「1回の手洗いに時間をかけて丁寧に洗う」「ハンカチを毎日持ってくる」など自分なりに立てられていた。
- できてないところを注目して導入する方法でなく、前向きな導入はないのか。
→児童ができていないところ(自分の現状)を見直すだけでなく、できていることを教師が認め、授業を通して継続することもめあてになることを支援している。それ以外の方法などは特別活動部会でも課題となっている。
- TTの学習の進め方、役割分担はどのように決めたのか。
→本来は、担任が進めて養護教諭がT2に入る形かと思うが、今回は二人でお互い助け合っていく方法を考えた。子どもたちと一緒に学習することを意識して行った。

<指導講評：カリキュラムセンター 野口裕子指導主事>

- 授業で伝えたいこと・ねらいがわかりやすかった。思考の流れがスムーズであった。
- 児童の発言を教師が上手に転換していた。
- 動画と写真を使用したので話し合い活動の時間を多くとれた。
- OT1T2の役割分担ができていた。
- 健康教育を取り組むに当たり、全職員の協力の下、家庭を巻き込んで行う。継続して計画的に推進して、子どもたちのために健康教育に取り組んでほしい。



<指導講評：特別活動研究会会長 小堤紀子校長>

- 昨年の1年生のとき、授業を見たが、当時よりもっと自分たちで考えようとする姿勢ができていた。
- 授業の流れがわかる板書、資料のグラフがとても見やすかった。
- 教室環境がよかった。みんなで決めた学級目標、所属感を高める役割分担、継続的な学習の掲示物

